

様式

第9期高齢者福祉計画・ 市民意見公募によるご意見・回答表

NO	提出された意見（概要）	市(実施機関)の考え方
1	<p>1-①看護小規模多機能型居宅介護について</p> <p>本計画において、福津市内にも看護小規模多機能施設の設置が盛り込まれたことについて歓迎します。</p> <p>市内も含め福岡県においては、施設や民間の住宅型ホームが多いこともあり、看多機のニーズが顕在化していませんが、コロナ禍の中で在宅に戻ってくるターミナルケースも増えており、改めて在宅でのターミナルケアが見直されてきています。訪問看護ステーションの活躍も期待される中、家庭の事情でどうしても在宅での看取りが困難なケースも多く、病院と在宅の間にある地域の看護小規模多機能施設の存在は今後期待がもたれることと思います。介護保険事業ですが、医療との関わりがより一層深い位置でもあり、その方面からの啓発も重要と考えます。</p>	<p>在宅療養のニーズが高まる中、看護小規模多機能施設については、退院してすぐのニーズに対応できるというメリットを考えました。訪問看護や定期巡回・随時対応型訪問介護看護でも対応できますが、利用限度額をすぐに超えてしまいますし、小規模多機能型居宅介護は医療面のニーズに弱い点も考慮すると、看取りまでを含み、住み慣れた地域で、本人の在宅生活やその家族の在宅介護を支えるには、小規模多機能型居宅介護と訪問看護の機能を備えた看護小規模多機能居宅介護の整備が最適との結論に至りました。ご指摘のとおり、在宅療養の住民啓発も重要であるため、引き続き宗像市と共同連携しながら宗像医師会在宅医療拠点室（むーみんネット）を拠点にして実施していきます。</p>